

MRS の有用性について検討した。腎移植後の15例について、1.5T の MRI/S 装置と surface coil で測定を行い、得られたピーク比と腎機能との比較を行った。MR-S 施行時期における血清クレアチニンおよび尿素窒素値とピーク比との間には有意な相関はみられなかった。しかし、腎機能が経時に低下傾向を示す群では、横ばい傾向を示す群に比べて β -ATP/Pi などのピーク比は有意に低値を示し、これらのピーク比は、腎機能の経時的变化を反映していると思われた。特にピークの面積から求めた β -ATP/Pi は、移植後の腎臓において、その予後を評価する上で有用であることが示唆された。

26. 前立腺肥大症と前立腺癌の MRI 所見の検討

鹿島田明夫、安田茂雄、藤本 肇
(沼津市立)

MRI における前立腺肥大症と前立腺癌の特徴的所見について検討した。対象は組織学的に診断された、前立腺肥大症19例、前立腺癌29例である。スピノエコー法の T1 強調像、T2 強調像を得、各々の症例につき、前立腺計測、前立腺内部構造の描出率、信号強度の不均一性、結節性病変の有無、精嚢信号強度の不均一性に注目し、前立腺肥大症と前立腺癌の差異について検討した。前立腺計測においては、両者の間に有意差を認めなかつた。前立腺肥大症では、腫大した内腺および T2 強調像にて冠状の低信号域として見られる外科的被膜の描出率が、有意に高かつた。前立腺内部の信号強度の不均一性、外方突出性結節性病変は前立腺癌に有意に多かつたが、前者の特異性は乏しかつた。精嚢の信号強度の不均一性は前立腺癌の精嚢進展を示唆すると考えられ、外方突出性結節性病変とともに前立腺癌に特異的所見と思われた。

28. 超高速 CT (IMATRON C-100) の使用経験

荒瀬佳子、藤井恭一
(国立病院医療センター・放射線診断部)

目的：国立病院医療センターで試用中の超高速 CT を胸部、腹部の撮影に利用し、臨床的に有用な点と問題点について検討を行なつた。方法：使用装置は、IMATRON C-100XL を用いた。症例：本年 9 月 12 日～11 月 16 日に、超高速 CT にて撮影した362例でその内訳は、腹部209、胸部83、骨盤部36、頭部12、頸部13、心臓6、その他3 となっている。結果：①呼吸停止なしでも画像の鮮銳度の低下は、ほとんど見られなかつた。②消化管のぜん動運動による人工産物の発生は少ないようである。③骨辺縁の人工産物が強調されて見える。④腸管ガ

スに起因する人工産物は著明ではない。

29. 脾原発悪性リンパ腫の 1 例

遊佐昌樹 (国立千葉)

症例は68歳、男性。体重減少を主訴に受診し超音波検査にて脾腫瘍性病変を指摘され精査のため入院。画像診断上は Ga シンチグラフィで脾へきわめて強い集積像をみたのが特徴的であった。MRI を施行し T₂ 強調像で巨大な脾腫を認め、腫瘍は脾実質より高信号でその中に不規則に特に強い高信号領域を認めた。摘脾術が施行され脾は 16×14×11cm, 1060gr。脾は横隔膜に瘻着するも脾門部や腹腔内にリンパ節腫脹なく肝にも異常なかつた。組織学的に脾原発の Non-Hodgkin Lymphoma, diffuse large cell type と診断された。本症の診断、予後等に關し文献的考察を行つた。脾原発悪性リンパ腫においても、治療や予後を考えるうえで病期の決定、組織型の検索が重要であると思われた。

30. 肺結核症の Doctor's delay

三上明彦 (国療東京病院)

肺結核症の診療において演者 の 経験した、Doctor's delay の長かった 3 例を報告する。症例 1 : 25 歳、男性。左胸水にて某院で、排液のみ受けた。1 年 8 ヶ月後、胸部異常陰影を指摘され、気管支鏡採痰にて G (III)。症例 2 : 53 歳、女性。咳、痰、嘔声で近医受診したが異常なし。以来 1 年 3 ヶ月、自己の判断で 3 回転医し、そこで喀痰より G (V)。喉頭・気管・気管支・肺結核の診断。症例 3 : 33 歳、男性。咳、痰、胸水にて某院で開胸心臓切開ドレナージ、左右の胸腔ドレナージ。右手根部腫脹あり、他医でギブス固定。さらに 2 回目の転医先で結核を疑われて当院紹介され、喀痰より G (II)。粟粒結核・結核性胸膜炎・骨結核の診断。

Doctor's delay 短縮のためにはまだ我が国最大の感染症であることを認識し、積極的な胸部 X-p、喀痰検査が必要と思われる。

31. シンチカメラでの散乱 γ 線スペクトル測定

三枝健二
(都立医療技術短大・診療放射線学科)

シンチカメラによるイメージングでは散乱 γ 線の寄与が画質、定量性に悪影響を持たらす。そのため、撮像にはエネルギーインドウを光電ピークに設定し、散乱 γ 線をできるだけ除去している。しかし、エネルギーインドウ中にも一次線の他、コンプトン散乱による散乱